

令和6年度 保護者アンケート結果

流山市立長崎小学校

【全校】

No.	項目		5 とても そう思う	4 そう思う	3 ふつう	2 あまりそ う思わない	1 そ う思わない	計	平均
			回答数	回答率	回答数	回答率	回答数		
1	教職員は、子どもの話をよく聞いて相談にのり、思いや考え方を理解しようと努めている。	回答数 回答率	119 28%	191 45%	84 20%	20 5%	6 1%	420 100%	3.9
2	教職員は、間違った行動に対して厳しく指導をしている。	回答数 回答率	76 18%	195 46%	120 29%	25 6%	4 1%	420 100%	3.7
3	教職員は、お互い協力して子どもの指導に取り組んでいる。	回答数 回答率	90 21%	221 53%	97 23%	7 2%	5 1%	420 100%	3.9
4	お子さんは、学校へ行くことを楽しみにしている。	回答数 回答率	116 28%	177 42%	89 21%	26 6%	12 3%	420 100%	3.9
5	お子さんは、進んで挨拶のできる子に育っている。	回答数 回答率	66 16%	148 35%	145 35%	52 12%	9 2%	420 100%	3.5
6	お子さんは、学習内容を身につけている。	回答数 回答率	49 12%	202 48%	120 29%	42 10%	7 2%	420 100%	3.6
7	お子さんは、家庭学習の習慣が身についている。	回答数 回答率	47 11%	146 35%	137 33%	74 18%	16 4%	420 100%	3.3
8	お子さんは、読書に親しむようになっている。	回答数 回答率	54 13%	107 25%	108 26%	94 22%	57 14%	420 100%	3.0
9	学校は、メールやホームページ、手紙などを通じて教育方針や学校の様子などをわかりやすく伝えている。	回答数 回答率	32 9%	148 42%	124 36%	28 8%	17 5%	349 100%	3.4
10	学校は、学力向上をめざして授業改善に取り組んでいる。	回答数 回答率	27 8%	125 36%	139 41%	45 13%	7 2%	343 100%	3.3
11	学校は、道徳的心情（生命尊重、思いやり、規範意識、社会ルール等）を育てようとしている。	回答数 回答率	33 10%	162 47%	124 36%	18 5%	6 2%	343 100%	3.6
12	学校は、体力向上に向けて体育的活動に取り組んでいる。	回答数 回答率	40 12%	169 49%	119 35%	12 3%	3 1%	343 100%	3.7
13	学校は、子どもが活動するのに適した施設・設備環境である。	回答数 回答率	41 12%	152 44%	110 32%	25 7%	14 4%	342 100%	3.5
14	学校は、子ども達一人ひとりの特性に応じた配慮や支援をしている。	回答数 回答率	37 11%	139 41%	122 36%	32 9%	9 3%	339 100%	3.5
15	学校は、保護者・地域との願いを受け止め、連携して教育活動に反映するように努めている。	回答数 回答率	38 11%	144 43%	135 40%	16 5%	5 1%	338 100%	3.6
16	学校は、保護者が参加・参観できる学校行事や授業参観等の機会を適切に設けている。	回答数 回答率	66 19%	197 58%	68 20%	8 2%	2 1%	341 100%	3.9
17	学校は、家庭への連絡を適切に行い、問題や課題に対して速やかに対応している。	回答数 回答率	51 15%	174 51%	80 24%	31 9%	4 1%	340 100%	3.7
18	保護者として、教育活動（授業参観・懇談会、PTA活動、学校行事、奉仕活動等）に積極的に参加した。	回答数 回答率	24 7%	138 40%	133 39%	36 11%	10 3%	341 100%	3.4
19	保護者として、学校からの依頼やお願ひに対してできるだけ協力した。	回答数 回答率	19 6%	144 42%	146 43%	24 7%	7 2%	340 100%	3.4
20	保護者として、学校やPTAからのお知らせ等の配付物に目を通すように努めた。	回答数 回答率	54 16%	181 53%	94 28%	9 3%	3 1%	341 100%	3.8

【考察】

アンケート結果については、それぞれの回答への割合の他、とてもそう思う（5）、そう思う（4）、ふつう（3）、あまりそう思わない（2）、そう思わない（1）と数値化し、平均値する方法をとっています。

（1）～（3）については、教職員の姿勢についての設問です。

肯定的な回答が多数を占めていますが、「ふつう」が2割から3割程度、否定的な回答が1割未満でした。また、昨年度と比較すると、（3）の「教職員は、お互い協力して子どもの指導に取り組んでいる」の設問に対する肯定的な回答の割合が増えています。本校では、学年担当制、教科担当制の体制をとり、教科指導のみならず、朝の会や帰りの会、給食の時間や掃除の時間においても、より多くの教職員が子供たち一人一人に係る体制を整え、協力・連携しながら子供たちの指導にあたってきました。今後も、子供たちの言葉にしっかりと耳を傾け、学年担当を軸に、全教職員が一丸となり、子供たちのよりよい成長に向け、子供たちの指導にあたっていきます。

（4）～（8）については、お子さんに対する設問です。

「学校へ行くことを楽しみにしている」については、児童アンケート同様肯定的な回答が多いです。また、昨年度よりも肯定的な回答の割合が高くなっています。楽しみにしている理由は様々だと思われますが、今後も学校が子供たちにとって楽しいと思える居場所になるよう、教育活動に取り組んでいきます。

「進んで挨拶ができる」については、児童アンケート同様、全体平均より低い評価となっています。学校では子供たちに進んで挨拶するよう指導しています。ご家庭でも「おはよう」「ありがとう」「おやすみなさい」などの日常生活での挨拶ややり取りができるよう引き続き声掛けをお願いします。また、保護者の皆様が進んであいさつすることで、子供たちの手本となりますので、保護者の皆様におかれましても、挨拶の励行を心掛けていただければと思います。

「家庭学習の習慣」については、肯定的な回答が半数以下となっており、約2割が家庭学習に取り組んでいないと回答しています。一定数、家庭学習に取り組めていない子供たちがいることが分かりますので、今後も、ドリルやプリント、タブレット等を活用し、家庭と連携しながら家庭学習の習慣化につとめていきます。

「読書に親しむ」については、昨年同様、肯定的な回答が他の設問に比べて低く、かつ、否定的な回答の割合と同程度となっております。学校では、学校図書館司書の活用、図書館便りの発行、学年毎のミニ図書館、ボランティアによる読み聞かせ、図書環境の整備等、本に触れる機会を意図的に作っています。しかしながら、その取組が、家庭での読書を含めた児童の読書習慣に十分につながっていないようです。今後も、様々な学習の場面で、本に触れる機会を増やしていきます。ご家庭においても、意識的に読書環境を整えていただき、子供たちが少しでも読書に親しむ工夫をしてくださいますようご協力をお願いいたします。

（9）～（17）については、学校の取組に関する設問です。

「学力向上をめざした授業改善」については、肯定的な回答が4割強、「ふつう」が4割程度となっています。教職員は、日々、児童の学力向上やわかりやすい授業の実践に向けて教材研究や授業力向上に努めています。具体的には、教職員による研究授業や、講師を招いた校内授業研究会の実施、また今年度はチャレンジウィークを設定し、本校の今年度の研究主題「主体性を育てる個別最適な学び・協働的な学びの在り方」に沿った形で、単元内自由進度学習や探究型学習に取り組んできました。今後も、子供たちがわかる授業、主体的に活動できる授業に向け研鑽を積むとともに、ホームページや授業参観、面談等をとおし、保護者の皆様に授業の様子や授業改善に向けた教職員の取組を知っていただく機会を設けていきたいと思います。

「道徳的心情を育てようとしている」については、「とてもそう思う」「そう思う」「ふつう」を合わせて9割程度の回答となりましたが、その割合は昨年度よりも微減しました。学校では、道徳の時間を要として学校の教育活動全般においてそれぞれの学習の特質に応じて道徳教育を行っています。これからも、子供たちが道徳性を身につけより生き方ができるよう、様々な活動をとおして道徳的心情の育成を図っていきたいと思います。

「子どもが活動するのに適した施設・設備環境」であるについては、全体平均よりも低い評価かつ昨年度よりも低い評価となっております。学校では、毎年、よりよい教育活動を行うために必要な備品を検討の上、新たに購入し、教育活動の充実を図っています。また、施設・設備についても日々の点検や学校評価アンケート等でいただく保護者の皆様のご要望も踏まえ、改修要望を出し、子供たちが安心・安全に活動できる施設・設備を目指しております。

「一人ひとりの特性に応じた配慮や支援」についてもやや低めの評価なっていますが、昨年度よりも肯定的な回答の割合が高くなっています。今後もより一層児童理解に努め、一人一人の困り感や状況に寄り添った指導を心掛けていきます。

「教育方針や学校の様子などをわかりやすく伝えている」については、5割程度の肯定的な評価があるものの、全体平均と比較すると低い評価となっています。各種だより、ホームページ及びメール配信にて、教育活動の様子や学校の取組についての発信を行っており、ホームページも日々多くの閲覧をいただいております。今後も日常的に積極的な情報発信を心掛けますので、学校の教育活動の様子や学校の取組を知っていただければと思います。

「学校行事や授業参観」については、「とてもそう思う」「思う」「ふつう」を合わせて9割以上の回答を得られているものの、全体平均は昨年度より微減しています。今後も引き続き、児童の活躍を地域や保護者の方に見ていただけるよう、様々な参観の機会を設けていきたいと思います。

(18)～(20)については、保護者自身の評価です。

「教育活動への参加」「学校からの依頼やお願いに対し協力的」については、評価が低くなっています。児童の成長には、学校と家庭が両輪となって連携していくことが重要です。学校でも、保護者の皆様に御参加・ご参観いただく場を設けたり、適切な連絡を心掛けたりしていきますので、保護者の皆様にも引き続きご協力いただき、児童のために連携体制を強化していけたらと思います。